

# 令和6年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和5年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	起業・創業支援事業		事業番号	015-016	
担当部署名	産業振興	局	産業戦略	部	中百舌鳥イノベーション創出拠点担当 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①成長分野をはじめとする新事業の創出					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数					
		寄与するKPI	有	現状値	74件(5年(2015～19年度)の累計)	目標値	100件(2021～25年度の累計)			
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も		ターゲット	8.3		
		取組	創業準備のサポートと創業間もない企業の成長促進							
		指標名	女性の就業率							
3	現状値	有	50.1%(2022年度)		目標値	55.0%(2025年)				
		有	堺産業戦略							
3	事業開始年度	平成 16 年度		点検対象年度	令和 7 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	新事業創出促進法（現 中小企業新事業活動促進法）								

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市・さかい新事業創造センター（S-Cube）										
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	起業家、中小・ベンチャー企業等	対象数	-							単位	-
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	起業・創業をめざしている人及びインキュベーション施設（さかい新事業創造センター）に入居する起業家やベンチャー企業、中小企業等の新たな事業活動を支援することで、地域経済の発展に資することを目的とする。										
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	さかい新事業創造センター（S-Cube）を中心にインキュベーション事業を実施。 ※インキュベーション…創業間もない企業（個人含む）や、新事業に取り組む企業に、オフィス等の事業スペースと経営相談等のサービスを一体的に提供する支援活動のこと。 有望なスタートアップ企業等に対する実証フィールドの提供や実証事業を円滑に実施するためのサポートを実施。 成長意欲の高い起業家や第二創業を対象に、事業計画の策定や実施体制の確保、仮説検証等の各段階における一気通貫の伴走支援、メンターとして参画する先輩起業家・VC（ベンチャーキャピタル）等がもつ事業成長のためのノウハウやネットワークの提供を行う。										
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載										
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	株式会社さかい新事業創造センター、市内企業等										
10	公民連携・協働事業											

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標		目標	点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
				目標値	90	90	90	90	
				実績値	82	75			
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績		目標			
				令和4年度	令和5年度	令和6年度			
				目標値	47	47	47		
12	さかい新事業創造センター年間平均入居者数	者	実績	実績値	42	39			
				達成率	90%	83%			
	当該指標を選定した理由	S-Cubeは、イノベティブな事業を生み出す入居事業者をサポートし、成長支援する機関。入居企業増は、将来的にイノベーションを起こす事業者の増にもつながり、非常に有用なものである。							
	目標値の設定根拠・算出方法	安定した経営を実現すべく、年間平均入居者数を高める							

## 令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	起業・創業支援事業	事業番号	015-016
-------	-----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	98,255	90,496	94,812	86,860	94,850
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金		999		0
	市債				0
	その他 (産業活性化基金繰入金)				86,860
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	98,255	89,497	94,812	0
14 人件費 (b)	8,200	10,660	10,530	10,530	0
15 年間経費(c)=(a)+(b)	106,455	101,156	105,342	97,390	94,850

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	さかいスタートアップアクセラレーション事業	R5 決算	78,344	0		R5 決算	
		R6 予算	78,347	78,347		R6 予算	
	堺市スタートアップ実証事業補助	R5 決算	1,789	0		R5 決算	
		R6 予算	4,000	4,000		R6 予算	
	インキュベーション施設入居者支援補助	R5 決算	6,486	0		R5 決算	
		R6 予算	11,401	11,401		R6 予算	
	その他	R5 決算	21	0		R5 決算	
		R6 予算	1,102	1,102		R6 予算	
	ベンチャー調達認定制度認定サービス実施	R5 決算	220	0		R5 決算	
		R6 予算	0	0		R6 予算	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
① さかい新事業創造センター年間平均入居者数	者	42	39
② 上記①にかかる年間経費	千円	17,105	17,016
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	407,262	436,308
備考 (算出についての説明等)		入居者支援補助+人件費	

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>ベンチャー調達認定制度による認定サービスを市で調達（委託契約）を行い、当該サービスを施行実施した。スタートアップにおいて重要な初期需要の創出、及び認知度の向上に一定寄与したものと考える。当室としても今回の実績により、次年度以降も同様の手続きによる調達が可能となった。また、昨年度に引き続き、さかい新事業創造センター年間平均入居者数の減少に伴い単位当たりの経費が増加していることから、平均入居者数の改善が課題と言える。</p>
----	---

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>アクセラレーション業務におけるイノベーターズブートキャンプでは6社に対し年間を通じた伴走支援を行い、それぞれ事業のブラッシュアップや新規事業創出を行った。また、実証事業については、昨年度に比べ申請件数も増加しており、域外への情報発信だけでなく、中百舌鳥地域への情報等の流入や市内企業と市外企業における交流等も促進されたと考えられる。</p> <p>一方、上記所見にも記載したさかい新事業創造センター年間平均入居者数の減少、加えてさかい新事業創造センター卒業企業の市内定着率も減少している。KPIに直結する部分であることから、次年度においては賃料補助制度なども活用した複合的な施策展開による数値改善が必要であると考えられる。</p>
----	--